



主題名 男女共同参画社会の実現に向けて

教材名 男女雇用機会均等法

人権学習の視点 個別的な視点「女性の人権問題」

主題・教材について 男女共同参画社会の実現に向けて、様々な法律が改正されてきた。労働者が男女の性別により差別されることなく、働きやすい環境を整えていくことを一つの目的として、平成18年に改正された「男女雇用機会均等法」の内容について理解し、性別による固定的な役割分担等を背景とした差別的扱いや雇用における男女の均等な機会と待遇の確保などの課題に気付き、男女が互いに尊重し協力し合って、よりよい社会を築いていこうとする態度を育てたい。

ねらい 男女雇用機会均等法について理解を深めるなかで、性別による固定的な役割分担等を背景とした差別的扱いや雇用における男女の均等な機会と待遇の確保などの課題に気付き、男女が協力して社会生活を担っていこうとする心情を養う。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○「男性の仕事」「女性の仕事」と考えてきた職業について、どのように変わってきているかを想起させる。	一斉	○「男性の仕事」「女性の仕事」と考えてきた職業について、どのように変わってきているかを考える。	○パイロットや外科医など、かつては「男性の仕事」と考えがちであった職種について、女性の進出が見られることを生徒の意見から確認する。	
男女雇用機会均等法について知ろう。					
展開	○男女雇用機会均等法に定められている「募集及び採用」「仕事内容や昇進等」にかかわる条文を手がかりに、内容を理解させる。 ○P.49《考えてみよう》「求人票」の中で、問題点は何か、その理由を考えさせる。	一斉 個別グループ	○条文の中から、性差による差別が禁止されていることを理解する。 ○「求人票」の中で、問題点は何か、その理由は何かを考える。グループで意見を交流する中で、雇用に関わる問題点に気付き、女性の人権問題に対する理解を深める。	○第5条、第6条に基づき、どのようなことが禁止されているのかを、差別の例を取り上げながら理解させる。 ○専門用語については、指導者が適宜説明を加えること。 (例) 外勤、内勤、昇進、降格等 ○P.49の例「現在の求人票」を見ずに考えさせる(資料集を閉じさせる)。 ○問題点を見逃しがちな所の背景に性別による固定的な役割分担意識があることを気付かせる。 ○P.49の例「現在の求人票」を見て確認する。	資料集「男女雇用機会均等法」 ワークシート項目①
私たちは、これからどのようなようすればよいだろう。					
まとめ	○学習を通して学び、考えたことを振り返らせる。	一斉	○学習を通して学び、考えたことを振り返り、感想を書く。		ワークシート項目②

評価

男女雇用機会均等法について理解を深めるなかで、性別による固定的な役割分担等を背景とした差別的扱いや雇用における男女の均等な機会と待遇の確保などの課題に気付き、男女が協力して社会生活を担っていこうとする心情を養うことができたか。

